


研修等 報告書

平成 31 年 3 月 27 日

三田市議会議長 厚地弘行 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	印
	議員名	小杉崇浩 
参加者氏名	小杉崇浩 印	
講演会等研修名	元副市長が教える質問力・政策提言力アップ講座	
研修事項	1. 子ども、若者育成支援対策と国、自治体、NPO 2. 持続可能な開発目標 (SDGs) とまちづくり	
日 時	平成 31 年 1 月 30 日 (水)	
場 所	新大阪丸ビル別館	
所 見	<p>講師は、元内閣府の職員で、「子ども・若者育成支援推進法」の制定に携わっておられた方で、まさしく当事者としてその制度を作り上げたとのことでした。午前の講義は、ニート・ひきこもりの現状と課題、子ども・若者育成支援推進法の成立の背景とその後、子ども・若者に関する質問例という流れでした。ひきこもりやニートが社会問題化しており、麻生太郎首相の「若者を支援する新法」を策定するという所信表明演説 (平成 20 年) に基づき、法制度化されたとのことでした。ひきこもりの実態としては、15 歳～39 歳までで約 70 万人 (平成 22 年の内閣府「ひきこもりに関する実態調査」) とのことでした。法律が必要な理由は、縦割りを超えた地域支援ネットワークの必要性和法的位置づけにより支援に根拠を持たせるという 2 つがあったとのことでした。法では、子ども・若者支援地域協議会を設置し、様々な関係機関がネットワークを組んで、包括的にサポートしていく仕組みを構築することになっているが、その設置は「努力義務」となっており、設置しなくてもペナルティはないとのことでした。そのため、設置されたのは、平成 29 年度時点でも全国で 116 自治体にとどまっているとのことでした。実際に設置された自治体では、横浜市や三条市のように大きな成果を上げているところがあり、まだ設置さ</p>	

	<p>れていない自治体にはぜひとも設置してほしいとのことでした。三田市においては、ひきこもり対策は少しずつ充実してきているところですが、法が求める子ども・若者支援地域協議会はまだ設置されておらず、関係機関が知恵を持ち寄り、解決に向けて協働していく仕組みが必要だと思いました。</p> <p>午後の講義は、「持続可能な開発目標（SDGs）とまちづくり」というタイトルで、SDGsについて詳しく説明していただきました。SDGsとは、国連加盟193か国による2016年から2030年までの15年間の行動計画であり、17の大目標と具体的な169のターゲット（さらに約230の指標）から構成されているとのことでした。セミナー参加者に、169のターゲットのうち、いくつが自分のまちに関係すると思うかという問いに対しては、数個という答えから、すべて当てはまるという答えまで、議員一人ひとりのとらえ方も全くことになっていました。自治体がSDGsに取り組むメリットとしては、すでにこれまでやってきたことをSDGsに関連させてPRしたり、さらに推進するための根拠としたりすることができるとのことでした。まずは、SDGsという世界共通のものさしを活用して「自分探し」を行い、見えてきた強み・自分たちにできること・自分たちにしかできないことを確認しつつ、既存の取組みを「進化（イノベーション）」させ、さらに、庁内連携・マルチステークホルダーとの連携を進めて、新たなガバメントの構築へと発展させることができるとのことでした。三田市においても、SDGsを用いて、三田市の強みを掘り起こし、進化させていけるように努力していく必要があると思いました。</p>
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当日配布資料 ・パンフレット ・当日会場写真

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

午前の部

※本資料の私見については個人に属する見解です

子ども・若者育成支援対策

久保田 崇

立命館大学公共政策大学院 公務研究科教授
(元陸前高田市副市长/元内閣府参事官補佐)

t-kubota@fc.ritsumei.ac.jp

午後の部

※本資料の私見については個人に属する見解です

持続可能な開発目標 (SDGs) とまちづくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

↑ SDGsとまちづくり

学文社
3月には出版予定



久保田 崇

立命館大学公共政策大学院 公務研究科教授
(元陸前高田市副市長/元内閣府参事官補佐)

t-kubota@fc.ritsumei.ac.jp